

アグロフードセミナー

スマート野菜園芸，今とこれから

多くの方の
来場をお待
ちしており
ます

対象：本セミナーに関心のあるすべての方（定員:50名 | 参加費:無料）

日時：2019年6月11日（火）13:30～16:30

場所：新潟食料農業大学 新潟キャンパス（最寄り駅：豊栄駅）

主催：新潟食料農業大学 **後援：**日本政策金融公庫 新潟支店

※お申込みをされた方に駐車場などの交通手段のご案内を別途お送りさせていただきます。

■ 13:30～14:40 日本における野菜園芸研究の技術的展望

野菜生産現場でも労働力不足の問題が顕在化する中、効率的な生産を達成するために「スマート農業」への関心が高まっている。今後の農業生産においてどのような視点での研究や技術開発が必要なのか？海外での状況も紹介しながら議論を深めたい。



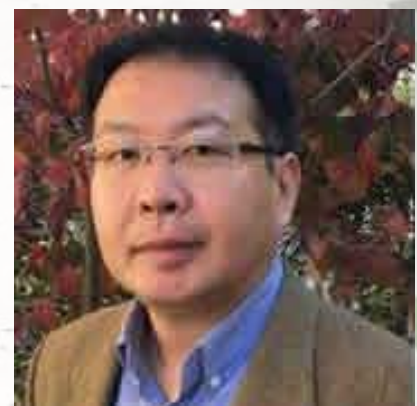
講師：中野 明正

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究調整官

略歴：1995年から農研機構にて園芸作物の生産技術および品質制御に関する研究開発を実施。農学博士、技術士（農業）、野菜ソムリエ上級プロ、土壌医などのさまざまな資格を生かして農業と科学技術の架け橋を目指した取り組みを行っている。また、JICA専門家として海外でも取り組みを広げる。現在、農林水産省農林水産技術会議事務局研究調整官（園芸、ゲノム、基礎・基盤）。

■ 14:50～16:00 植物生理に基づいた施設園芸の環境制御

日本の施設園芸では大幅な生産効率の向上が課題である。そのためには環境制御装置の導入と利用技術の向上が重要であるが、複合環境施設の導入面積は全体の2.2%である。適正な環境制御を行うには、植物生理に関する知識が必要であり、これによって収量増加や品質向上が期待できる。



講師：東出忠桐

農研機構 野菜花き研究部門 野菜生産システム研究領域 施設生産ユニット長
次世代施設園芸地域展開促進事業・次世代施設園芸検討専門委員会 委員長


略歴

1992年より農林水産省野菜茶業試験場、農研機構近畿中国四国農業研究センターを経て、現職。

2007～2008年にはワーゲニンゲンUR客員研究として渡蘭

2010年に米国園芸学会よりOutstanding Vegetable Publication Awardを受賞。

■ 16:00～16:30 総合討論

 新潟食料農業大学 社会連携推進課（担当:細野、宮路）

〒950-3197 新潟市北区島見町940 [E-Mail / renkei@nafu.ac.jp](mailto:renkei@nafu.ac.jp) TEL / 025-212-3301

FAX 送信方向

FAX:025-212-3302

新潟食料農業大学アグロフードセミナー

「スマート野菜園芸、今とこれから」

参加申込書

申込み
締切

2019年

6 / 5(水)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。ご了承ください。

以下の項目に必要事項をご記入いただき、上記の番号までFAXください。(送付状不要)

所属					
所在地	〒				
連絡先	TEL		FAX		
参加者	氏名		部署 役職等		E-Mail
	氏名		部署 役職等		E-Mail
	氏名		部署 役職等		E-Mail
	氏名		部署 役職等		E-Mail
	氏名		部署 役職等		E-Mail

※個人情報とは当セミナーの運営及び今後の社会貢献活動に利用し、第三者に開示することはありません。

お問い合わせ先



新潟食料農業大学 社会連携推進課 (担当:細野・宮路)

〒950-3197 新潟市北区島見町 940 TEL/025-212-3301 FAX/025-212-3302

E-Mail/renkei@nafu.ac.jp